

XF15で斜め2面カット可能に

多角形、円弧など様々な接合部に対応

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、非住宅プレカットCAD「XF15」で、多角形の物件など接合部が斜めに掛かる部材の入力、加工が自在にできる機能を新たに開発した。3次元トラスなどドーム型の木組みも簡単に入力、加工でき、対応できる特殊加工の範囲が格段に広がる。今後は構造計算サポートにも力を入れ、木造より大きな物件、多様な物件の普及につなげることを目指す。

非住宅・プレカットの対応範囲広がる

八角形のドームなど回転角度が付いた柱に取り付く筋違や母屋と登り梁の入隅部などに架かる材は、従来のCADでは斜め2面カットとならず、従来は1面を機械加工、1面を手加工で対応するが、特殊加工機用のCADで部材ごとに直接入力して加工していた。だが、部材ごとに計算して墨付け、入力するのは難しく、高度な専門能力が要求されるほか、手加工では手間と時間が掛かり、ミスにつながる恐れもあった。

新機能では、これまで決まらなかった斜め2面カットの取まり、加工形状が自動で決まり、製作金物の形状やドリフトピンの位置も自動で計算、加工される。通常の入力と同一の工程で入力、加工できるため、作業を大幅に効率化でき、ミスの発生も抑制できる。XF15は非住宅・大断面対応のプレカットCADで、オプションでCLTやログハウスにも対応している。物件規模は最大300×300と実質無制限で、部材寸法や本数の制限なく入力できる。

業界初の断面図入力機能と3次元入力機能を搭載しており、伏図だけでなく、任意の断面図や3次元立体図からも入力できる。このため、複雑な物件も入力しやすく、「アクロバティックな構造設計」(同社)も可能になる。

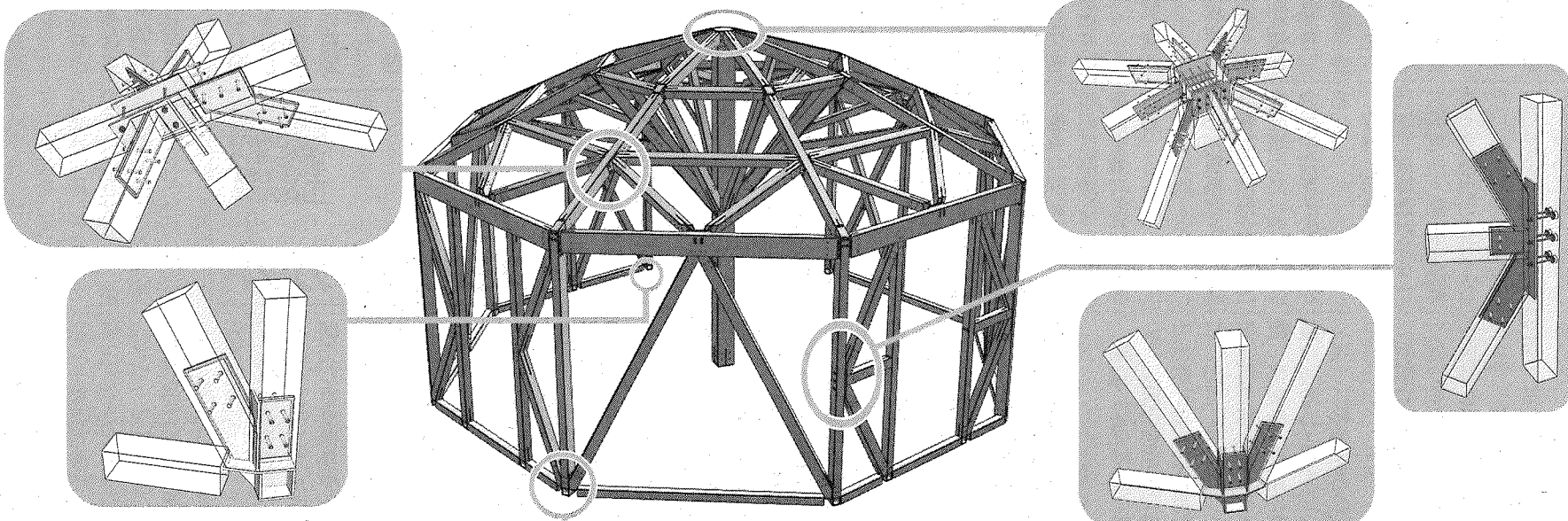
端部の加工形状はその場で自動処理され、部材属性で加工図として瞬時に画面表示できるほか、

CGカラーパース図で全体のイメージも確認できる。要素ごとに部材を半透明にし、接合部を透かして収まりや加工形状を確認することも可能。部材の種類に細かく木拾いマスタを構築すれば、入力された部材をすべて自動積算できる。金物マスタに登録された金物同士を合体処理する同社独自の技術により、複雑な製作金物も自由に設計、積算できるのも特徴。設計された金物のデータは金物メーカーのレーザー加工機に連動し、CAD/CAMで合理的にオーダー加工できる。

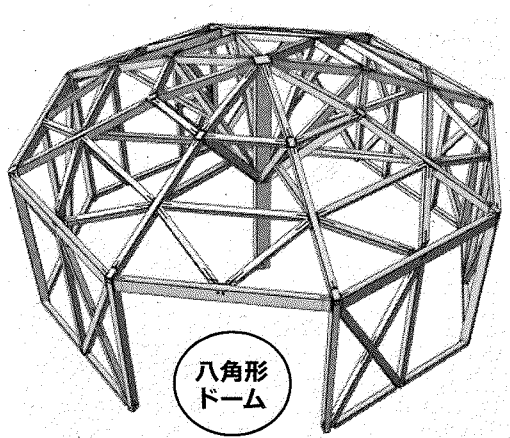
合弁会社で非住宅・構造計算をサポート

ネットイーグルはエヌ・シー・エヌ(東京都、田鎖郁男社長)と2月に業務提携し、非住宅木造の構造計算サポートに特化した合弁会社、木構造デザイン(同、福田浩史社長)を設立した。非住宅木造は公共建築物等木材利用促進法の施行以降、市場が拡大している。だが、構造計算を必要とする500平方メートル以上、3000平方メートル未満の建築物は木造率がわずかに数%にとどまる。両社は構造計算をサポートし、プレカットで加工対応できる体制を構築できれば、非住宅木造の市場はこれまで以上に広がる。合弁会社を通じて推進していくことにした。

具体的には、プレカット工場への設計サポート



問われる「総合力」、差別化



非住宅プレカットCAD **OPEN-NET XF15**

非住宅の曲面設計OK!
CADはここまで進化しました!

最新機能
凸2面カット
技術革新!
インバージョン

NET EAGLE
ネットイーグル株式会社
<https://www.neteagle.co.jp>

本社
〒819-0001
福岡市西区小戸
3-54-50
050-3536-5961

中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町
朝日165 ナガタニビル3階
050-3538-0221

東京CADセンター
〒108-0023
東京都港区芝浦2-14-4
オアゼネクス芝浦5階
050-3533-2894